

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 29 年 12 月 21 日 (2017.12.21)

【公開番号】特開 2016-178676 (P2016-178676A)
 【公開日】平成 28 年 10 月 6 日 (2016.10.6)
 【年通号数】公開・登録公報 2016-058
 【出願番号】特願 2016-99885 (P2016-99885)
 【国際特許分類】

H 0 4 R 25/00 (2006.01)

H 0 1 Q 1/24 (2006.01)

H 0 1 Q 9/42 (2006.01)

H 0 1 Q 9/40 (2006.01)

【F I】

H 0 4 R 25/00 H

H 0 1 Q 1/24 Z

H 0 1 Q 9/42

H 0 1 Q 9/40

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 11 月 8 日 (2017.11.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

補聴器アセンブリを備える補聴器であって、前記補聴器アセンブリは、第 1 の側部と、前記第 1 の側部の反対側に位置する第 2 の側部とを有し、前記補聴器は、
 信号プロセッサと、
 前記信号プロセッサに接続されているワイヤレス通信ユニットと、
第 1 伝送線路と、
 電磁場放射及び電磁場受信用のアンテナと、
 を備え、
 前記アンテナは、
前記補聴器の前記第 1 の側部の近くを延在する部分と、
前記補聴器の前記第 2 の側部の近くを延在する部分と、
前記第 1 伝送線路と前記補聴器の前記第 1 の側部の近くを延在する前記部分との間の接
続部と、を有し、
前記アンテナの少なくとも一部は、前記第 1 の側部から前記第 2 の側部に延在し、前記
補聴器の前記第 1 の側部の近くを延在する前記部分と、前記補聴器の前記第 2 の側部の近
くを延在する部分とを相互接続する部分であり、その相互接続する部分において電流の最
大値が提供される、補聴器。

【請求項 2】

前記補聴器の前記第 1 の側部の近くを延在する前記部分の少なくとも一部は、第 1 のブ
ランチであり、及び / 又は、前記補聴器の前記第 2 の側部の近くを延在する前記部分の少
なくとも一部は、第 2 のランチである、請求項 1 に記載の補聴器。

【請求項 3】

グランド接続部をさらに有し、及び / 又は、前記グランド接続部は、前記第 2 の側部に

ある、請求項 1 又は 2 に記載の補聴器。

【請求項 4】

前記第 1 の側部の近くを延在する前記アンテナの前記部分は、励振点から第 1 の端部へ延在する、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の補聴器。

【請求項 5】

前記第 2 の側部の近くを延在する前記アンテナの前記部分は、第 2 の端部を有する、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の補聴器。

【請求項 6】

前記グランド接続部は、前記第 2 の端部から、アンテナによって放射される電磁場の波長の少なくとも $1/8$ の距離に設けられている、請求項 3 を引用する請求項 5 に記載の補聴器。

【請求項 7】

前記アンテナは、モノポール・アンテナである、請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の補聴器。

【請求項 8】

前記第 1 伝送線路と前記補聴器の前記第 1 の側部の近くを延在する前記部分との間の前記接続部は、前記補聴器アセンブリの第 1 の側部にある、請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の補聴器。

【請求項 9】

前記第 1 のブランチはループを形成し、及び / 又は、前記第 2 のブランチはループを形成する、請求項 2 に記載の補聴器。

【請求項 10】

前記第 1 の側部は前記補聴器アセンブリの第 1 の長手方向側であり、前記第 2 の側部は、前記補聴器アセンブリの第 2 の長手方向側である、請求項 1 から 9 のいずれか一項に記載の補聴器。

【請求項 11】

前記第 1 の側部の近くを延在する前記アンテナの前記部分と前記第 2 の側部の近くを延在する前記アンテナの前記部分とが対称である、請求項 1 から 10 のいずれか一項に記載の補聴器。

【請求項 12】

前記補聴器は、使用時に使用者の耳の後ろに位置決めされるように構成された耳裏型補聴器であり、前記第 1 の側部は、前記補聴器の第 1 の長手方向側であり、前記第 2 の側部は、前記補聴器の第 2 の長手方向側である、請求項 1 から 11 のいずれか一項に記載の補聴器。

【請求項 13】

前記第 1 の側部から前記第 2 の側部に延在する前記アンテナの前記少なくとも一部は、前記第 1 の側部から前記補聴器の midpoint を介して前記第 2 の側部へ延在する、請求項 1 から 12 のいずれか一項に記載の補聴器。

【請求項 14】

(1) 前記 midpoint から前記接続部までの距離と (2) 前記 midpoint から前記少なくとも一つのグランド接続部までの距離との間の相対差異は、25% より小さい、請求項 3 を引用する請求項 13 に記載の補聴器。